



Title	大阪外国語大学アジア太平洋研究会の活動記録
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学アジア太平洋論叢. 1996, 6, p. 354-358
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99739
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【大阪外国語大学アジア太平洋研究会の活動記録】

- 1995年 4月27日 西村成雄 (大阪外国語大学・アジアⅠ講座・教授)
「アメリカにおける中国研究」
- 5月26日 ワークショップ「どこまでがアジアなのか」
高階美行 (大阪外国語大学・アジアアフリカ講座・教授)
大澤 孝 (大阪外国語大学・アジアアフリカ講座・助教授)
- 6月16日(金) 松田 武 (大阪外国語大学・アメリカ講座・教授)
「アメリカの東アジア政策—その伝統とパターンに関する一考察—」
- 7月15日(土) 西村成雄 (大阪外国語大学・アジアⅠ講座・教授)
「アメリカの中国近現代史研究一瞥」
- 9月9日(土) 秋田 茂 (大阪外国語大学・ヨーロッパⅡ講座・助教授)
「イギリスで見たこと考えたこと——現代イギリス社会の一端——」
- 10月12日(木) 深尾葉子 (大阪外国語大学・アジアⅠ講座・助教授)
「中国西北農村における政治と社会」
- 11月10日(金) 籠谷直人 (京都大学・人文科学研究所・助教授)
「日中戦争前の日本の経済外交——第二次「日印会商」(1936—37年)を事例に——」
- 11月24日(金) ピーター・マーシャル (ロンドン大学キングズ・カレッジ
名誉教授)
“The Origins of British Empire in India: Recent Interpretations”
大阪大学文学部西洋史研究室、イギリス帝国史研究会と共催
- 11月25日(土) 河原匡見 (摂南大学・法学部・専任講師)
「オーストラリアとアジア太平洋地域」

12月15日(金) 石井 修 (一橋大学・法学部・教授)

「世界恐慌下の日本の『経済外交』——アジア太平洋地域とのかかわりを中心に——」

12月16日(土): 合宿研究会・第一セッション

「アジア・太平洋圏の理論的検討、ならびに東アジアの現実」

- ①赤木 攻: 「研究の全体構想とその再調整について」
- ②森藤一史: 「近代日本とアジア・太平洋圏——日本政治学会分科会『近代日本とアジア』に参加して」
- ③許 衛東: 「アジア産業立地競争時代下の華南経済圏」
- ④野村茂治: 「貿易と賃金——先進国と発展途上国の競争——」

12月17日(日): 合宿研究会・第二セッション

「アジア・太平洋圏とアメリカ、ならびにEU圏との比較研究」

- ⑤松田 武: 「アメリカ合衆国とアジア・太平洋圏」
- ⑥山田康博: 「アメリカの安全保障とアジア」
- ⑦村山裕三: 「東アジアと大量破壊兵器の不拡散問題」
- ⑧浜口恒夫: 「現代カナダの多文化主義」
- ⑨芦田 亘: 「ドイツから見たアジア経済」
- ⑩秋田 茂: 「イギリスから見たアジア・太平洋圏——“Britain in the World Conference”での議論を中心に」

第三セッション: 「地域統合とナショナリズム」

- ⑪桑島 昭: 「インド 一つの変化——『貧困州』ビハールの場合——」
- ⑫阿河雄二郎: 「ジャンヌ・ダルク伝説と国民意識の形成」

第四セッション: 総括討論

1996年1月23日(火) ワークショップ「1920年代後半～30年代初期の東アジアをめぐる国際関係——中国・上海を中心にして——」

後藤春美 (東京大学・教養学部・非常勤講師)

飯島 渉 (横浜国立大学・経済学部・助教授)

籠谷直人 (京都大学・人文科学研究所・助教授)

秋田 茂 (大阪外国語大学・ヨーロッパⅡ講座・助教授)

アジア国際関係史研究会と共催

1996年2月14日(水) 西原 正 (防衛大学校社会科学教室教授、兼防衛研究所第一研究部長)

「冷戦後のアジア太平洋地域の安全保障」

2月17日(土) グスタボ・アンドラーデ (上智大学イベロアメリカ研究所所長)

「ボリバリズムとモンロー主義」

2月22日(木) ワークショップ「現代ビルマの政治と社会」

①根本 敬 (東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・助教授)

「アウン・サン・スー・チーの夢と現実——スー・チーの論理と軍事政権の論理——」

②南田みどり (大阪外国語大学・アジアⅡ講座・教授)

「軍事政権下のビルマ作家たち——アウンサンスーチー解放直後のビルマを行く——」

1996年3月3日(日)～3月4日(月) シンポジウム

「東アジアとアセアンをめぐる国際関係——その歴史的展開と展望——」

3月3日(日)

(1)ワークショップ・1

「戦後東アジアにおける国際政治経済の展開と展望——日本、アメリカ、中国を中心にして——」

(講師) ①杉田米行 (大阪外国語大学・アメリカ講座・専任講師)

「冷戦後のアジア太平洋における安全保障と日本の役割」

②四方敬之 (外務省・北米局北米第二課・課長補佐)

「クリントン政権の対日通商政策——その展開と展望——」

③加藤弘之 (神戸大学・経済学部・助教授)

「中国の市場経済化の現段階」

(コメント) 寺岡 寛 (中京大学・経営学部・教授)

村田晃嗣（広島大学・総合科学部・専任講師）

（司会） 田中 仁（大阪外国語大学・アジアⅠ講座・助教授）

(2) ワークショップ・2

「コンピュータとインターネットを使ったアジア・太平洋研究」

（講師） モーリン・ドノバン（オハイオ州立大学教授・日本ライブラリー責任者）

「デジタルの時代におけるアジア・太平洋研究の動向」

（コメント） 杉田米行（大阪外国語大学・アメリカ講座・専任講師）

（司会） 秋田 茂（大阪外国語大学・ヨーロッパⅡ講座・助教授）

3月4日(月)

(3) 講演

「東洋資本主義」のパラダイムを求めて

（講師） 涂 照彦（名古屋大学・経済学部・教授）

（司会） 西村成雄（大阪外国語大学・アジアⅠ講座・教授）

（コメント） 寺岡 寛（中京大学・経営学部・教授）

加藤弘之（神戸大学・経済学部・助教授）

(4) ワークショップ・3

「アセアンをめぐる国際関係——その現状と展望——」

（講師） ① 竹田いさみ（独協大学・外国語学部・教授）

「オーストラリアから見たアセアン—経済と安全保障のインターフェイス」

② 阿部純一（財団法人霞山会・主任研究員）

「中国から見たアセアン——接近と対立の構図——」

③ 五島文雄（大阪外国語大学・アジアⅡ講座・助教授）

「ベトナムから見たアセアン」

（司会） 松田 武（大阪外国語大学・アメリカ講座・教授）

（コメント） 高山正樹（大阪外国語大学・開発環境講座・助教授）

村田晃嗣（広島大学・総合科学部・専任講師）

1996年4月20日(土) ワークショップ：「アジア国際関係史の新地平を求めて
—杉原薫著『アジア間貿易の形成と構造』の問題提起を受けて—」

(1) 論点開示

(司会) 脇村孝平 (大阪市立大学)、小瀬 一 (龍谷大学)

(パネリスト) ①籠谷直人 (京都大学)：日本経済史の立場から

(ディスカサント) ②谷本雅之 (東北大学)：日本経済史の立場から

(パネリスト) ③黒田明伸 (名古屋大学)：中国政治経済史の立場から

(ディスカサント) ④西村成雄 (大阪外国語大学)：現代中国論の立場から

(パネリスト) ⑤柳沢 悠 (東京大学)：インド社会経済史の立場から

(パネリスト) ⑥池本幸生 (京都大学)：東南アジア地域研究の立場から

(パネリスト) ⑦秋田 茂 (大阪外国語大学)：イギリス帝国史の立場から

(ディスカサント) ⑧平田雅博 (青山学院大学)：世界システム論の立場から

(2) 討論：(司会) 脇村孝平 (大阪市立大学)、小瀬 一 (龍谷大学)

アジア国際関係史研究会、H-NETと共催

4月24日(水) パトリック・K・オブライエン (ロンドン大学歴史学研究所・所長)
「イギリス産業革命論の現在」

“Recent Interpretations of the Industrial Revolution”

関西イギリス史研究会と共催